

国内で女性初の国際レフェリーに合格した島尻真理子さん(右から2人目)と、ペアを組む太田智子さん(左から2人目)＝16日(日本ハンドボール協会提供)



日本ハンドボール協会

将来五輪で笛を

国内初の女性国際審判

日本ハンドボール協会が21日、世界選手権大会で審判員として、宮古島市出身の島尻真理子さん(31)と、ペアを組む太田智子さん(31)を組む。

島尻真理子さん 太田智子さん

島尻さんは「実技が全然できなくて、まさか自分た

が、国際試合を担当できる証の青色のワッペンを受け取ったことに「経験を積んで、もっと落ち着いて(審判の)笛を吹けるようになりたい。英語力も高めて1歩ずつ階段を上っていったらと思う」と気を引き締める。

日本ハンドボール協会の兼子真事務局長は「日本のレフェリーの質は高い。将来的に五輪で笛を吹くことを目標にしてもいい」と島尻・太田ペアの奮闘に期待を懸けた。

ちがという思いだった。これも協会のサポートのおかげ」と驚きと感謝の気持ちを語った。

島尻さんは昭葉付高、琉球大時代に国体選手となるなど、選手として活躍。同大在学時の2002年に国内レフェリーのD級を取って審判デビューし、全日本レベルの大会などで経験を積んできた。現在は日本女子体大ハンドボール部のGKコーチを務めている。